

## 平成30年度 歯科保健事業予算概要

### ○歯・口腔の健康づくりの推進 【19,572千円】

#### ライフステージに応じた歯・口腔の健康づくりの推進

- 1 施策の立案・推進 【3,150千円】
  - (1) 8020運動推進部会の開催(947千円)  
生涯を通じた歯の健康づくりを推進するための検討を実施  
構成員 歯科医師会、歯科衛生士会、医師会、市長会、町村会 等
  - (2) 口腔保健支援センターの設置(県健康増進課内)(2,203千円)  
「兵庫県口腔保健支援センター」において、口腔を通じた健康確保の総合的取組を推進
- 2 人材育成 【1,913千円】
  - (1) 要介護者に対する口腔ケア等指導・研修事業(404千円)  
集合型の研修会の開催や要介護高齢者、障害者(児)等の施設に歯科衛生士を派遣し、介護施設職員等への効果的な口腔ケアの手法を実践的に指導
  - (2) 保健所・地域活動歯科衛生士研修会の実施(476千円)  
地域における歯科保健対策を効果的に推進するため、歯科衛生士の人材育成研修を実施  
実施内容 歯科衛生士研修会、歯科衛生士離職防止研修会
  - (3) 離職歯科衛生士への復職支援(577千円)  
復職プログラムを開発し、研修を実施  
実施内容 復職支援研修会、復職研修プログラム検討会
  - (4) 多職種連携体制整備事業(146千円)  
在宅療養患者の口腔機能向上のための多職種連携好事例集を作成
  - (5) 8020運動推進員養成事業(310千円)  
生涯を通じた歯の健康づくり(8020運動)を推進するため、8020運動推進員を育成し、歯の健康づくり推進を目的とした地域活動を展開
- 3 普及啓発・調査研究 【9,349千円】
  - (1) (新)歯と食からはじめる健康寿命延伸プロジェクト(1,247千円)  
食の偏りによる虚弱や嚥下性肺炎の予防を図るため、プログラムの開発と栄養管理指導等を実施

プログラムの開発検討会の実施 (720 千円)

構 成 員 医師会歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会 等

回 数 3回

配食事業者への指導 (527 千円)

県内配食事業者の実態把握や栄養管理研修を実施

(2) (新) 青年期からの健口力向上モデル事業 (3,910 千円)

歯科健診の習慣化を図り、青年期の健康づくりを推進

歯科健診・歯科保健指導

・対 象 大学生 2,000 人

・方 法 定期健診時に実施

(3) 医科歯科連携による妊産婦の口腔ケア促進事業 (1,685 千円)

市町の妊婦歯科健診の実施を支援・促進

産科医・助産師に対する研修会

母親教室等での妊婦に対する普及啓発

(4) 通所施設での歯科健診等実施体制整備事業 (640 千円)

在宅療養者が地域の歯科診療所でも定期的な歯科健診等を受けられる体制を整備

歯科口腔保健サービスの向上に向けた検討会の開催

・参加者 郡市区歯科医師会、歯科衛生士会各支部、市町、

障害者(児)・要介護高齢者の通所施設関係者 等

地域の歯科専門職の実習と医療機関情報の公開

・対 象 県内で開業の歯科医療機関勤務の歯科専門職

(5) 歯・口腔からのアプローチによる認知症予防事業 (1,867 千円)

認知症患者の口腔機能向上プログラム研修の実施

・対 象 歯科専門職、介護支援専門員、介護施設職員

・回 数 4回

4 受診促進・指導等

【5,340 千円】

(1) 専門的歯科保健対策事業の実施 (1,340 千円)

歯みがきや義歯の手入れ等を十分に行うことのできない難病患者や障害者(児)に対して、歯科保健相談、訪問歯科保健指導を実施

(2) (新) 企業従業員と家族の歯科健診受診支援事業 (4,000 千円)

働き盛り世代の歯科健診受診促進のため、健康づくりチャレンジ企業の従業員、その被扶養者が受診した歯科健診受診に要する費用補助